

NIC Autotec, Inc.



第 49 期

2020 Ordinary General Meeting of Shareholders

 **定時株主総会 参考資料** 

エヌアイシ・オートテック株式会社

2020年 6月 27日

1	連結経営指標等の推移	3
2	当社経営指標等の推移	4
3	業積推移 — 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 —	5
4	業績推移 — 純資産/総資産・1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益 —	6
5	セグメント別売上高の状況	7
6	連結財務諸表	8
7	財政状態の分析	9
8	経営成績の分析	10
9	会社概要	11
10	沿 革	12
11	3つの事業部門	13
12	国内事業拠点	14
	愛知事業所 2019年10月稼働開始	15
13	NIC 製品のご紹介 小型ロボット専用アルミ架台“アルファ・キット”	16
	本資料について	17



回次		第45期	第46期	第47期	第48期	第49期
決算年月		2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
売上高	(千円)	6,176,962	8,088,753	9,260,778	8,715,190	6,614,552
経常利益	(千円)	565,737	833,708	1,032,716	746,710	176,938
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	363,630	551,582	695,663	492,371	100,433
包括利益	(千円)	284,980	619,504	725,520	428,516	44,884
純資産額	(千円)	3,663,026	4,157,147	4,631,834	4,831,497	4,643,482
総資産額	(千円)	5,690,837	7,214,958	8,386,222	8,203,116	7,431,294
1株当たり純資産額	(円)	672.26	762.95	850.09	886.69	852.21
1株当たり当期純利益	(円)	66.73	101.23	127.67	90.36	18.43
自己資本比率	(%)	64.4	57.6	55.2	58.9	62.5
自己資本利益率	(%)	10.2	14.1	15.8	10.4	2.1
株価収益率	(倍)	10.3	18.9	12.8	8.9	43.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	240,758	278,714	556,092	612,256	390,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	141,747	203,015	693,210	231,933	512,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	108,282	25,079	371,830	304,511	175,429
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	252,781	308,801	545,329	617,831	671,945
従業員数(外、平均臨時雇用者数)	(名)	180〔30〕	190〔46〕	223〔47〕	251〔36〕	254〔35〕

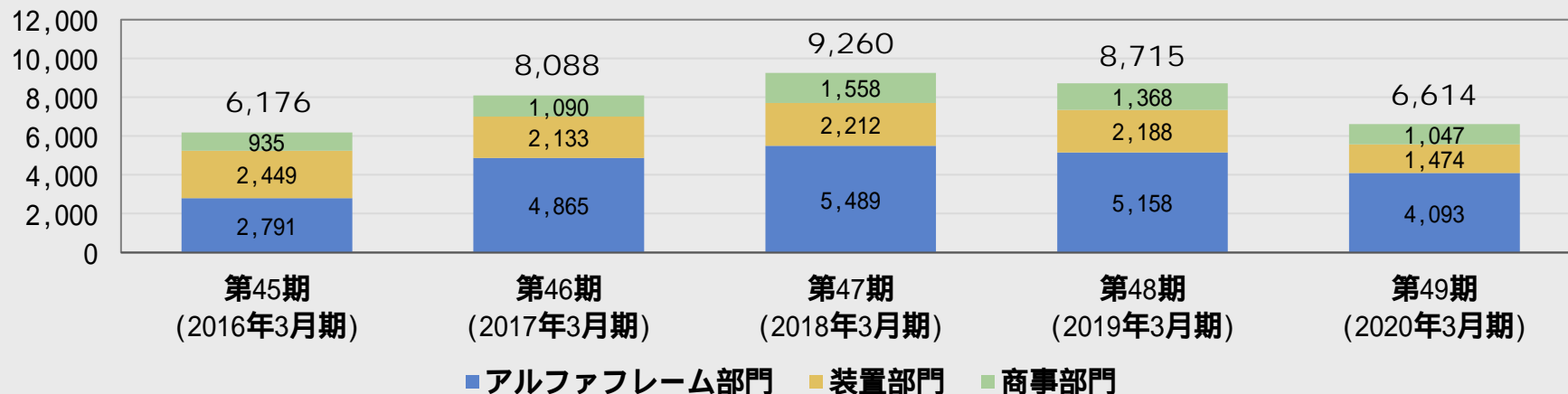
(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

回 次		第45期	第46期	第47期	第48期	第49期
決算年月		2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
売上高	(千円)	6,194,894	8,081,448	9,259,861	8,683,344	6,567,071
経常利益	(千円)	605,741	880,864	1,088,010	812,257	227,139
当期純利益	(千円)	363,879	598,595	685,821	468,594	150,079
資本金	(千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発行済株式総数	(株)	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
純資産額	(千円)	3,666,953	4,194,507	4,653,576	4,828,272	4,715,034
総資産額	(千円)	5,691,867	7,248,550	8,392,840	8,183,886	7,483,572
1株当たり純資産額	(円)	672.98	769.81	854.08	886.14	865.36
1株当たり配当額(内、1株あたり中間配当額)	(円)	23( )	30( )	39(16)	39(19)	39(19)
1株当たり当期純利益	(円)	66.78	109.85	125.87	86.00	27.54
自己資本比率	(%)	64.4	57.9	55.4	59.0	63.0
自己資本利益率	(%)	10.2	15.2	15.5	9.9	3.1
株価収益率	(倍)	10.2	17.4	13.0	9.3	29.0
配当性向	(%)	34.4	27.3	31.0	45.3	141.6
従業員数(外、平均臨時雇用者数)	(名)	175〔30〕	183〔46〕	214〔47〕	242〔36〕	242〔35〕

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

## 売上高

単位：百万円



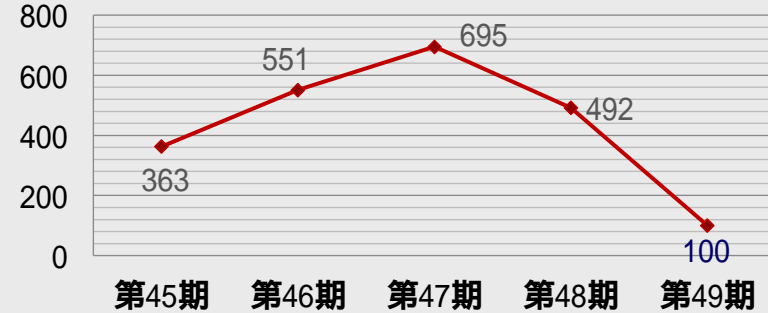
## 経常利益

単位：百万円



## 親会社株主に帰属する当期純利益

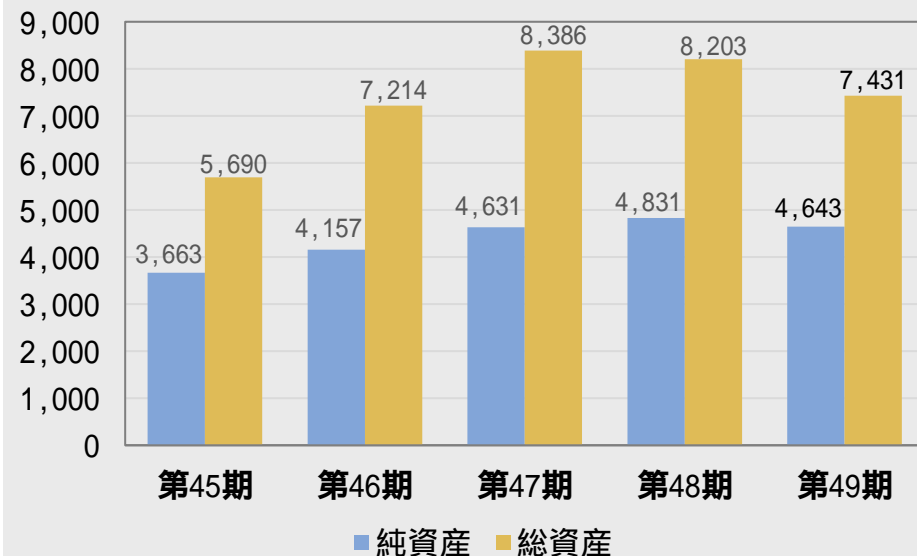
単位：百万円



(注) 第45期より連結決算となっております。

## 純資産額 / 総資産額

単位：百万円



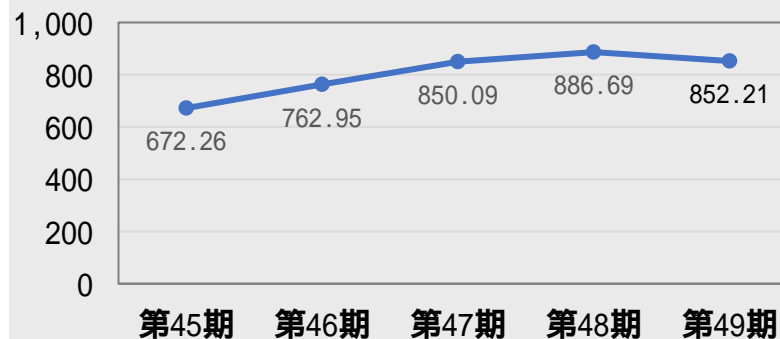
## 財政状態の分析

当連結会計年度末の総資産は、前年度末と比べ771百万円減少し、7,431百万円となり、負債合計は、前年度末と比べ583百万円減少し、2,787百万円となりました。正味運転資本(流動資産から流動負債を控除した金額)は2,734百万円であり、流動比率は272.9%であります。

なお、当連結会計年度末の純資産合計は、前年度末と比べ188百万円減少し、4,643百万円となりました。自己資本比率は62.5%となっております。

## 1株当たり純資産額

単位：百万円



## 1株当たり当期純利益

単位：円







## アルファフレーム部門

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件数は順調に推移し、これらの案件の売上高は前年度を上回りましたが、FA装置関係の設備投資に一時的な調整が見られたことで大口案件は低調な状況で推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は4,093百万円（前期比79.3%）となりました。



## 装置部門

装置部門におきましては、設備投資需要が低調に推移する状況の中、大型設備向けクリーンブースについては、当連結会計年度下半期に需要が減少しましたが、FA装置については上半期に比較して下半期では売上高を伸長させました。

この結果、当部門の売上高は1,474百万円（前期比67.4%）となりました。



## 商事部門

商事部門におきましては、当連結会計年度の第3四半期まで工業用砥石、油脂類等の消耗品関係及び工具関係等の受注が、前年度と同水準で推移しておりましたが、第4四半期に入ってから減少いたしました。また機械設備関係の売上高は好調であった前連結会計年度を下回る結果となりました。

この結果、当部門の売上高は1,047百万円（前期比76.5%）となりました。



連結貸借対照表

(2020年3月31日現在)

科目	金額(千円)
<b>資産の部</b>	
流動資産	4,316,058
固定資産	3,115,236
有形固定資産	2,789,727
無形固定資産	44,659
投資その他の資産	280,849
資産合計	7,431,294
<b>負債の部</b>	
流動負債	1,581,681
固定負債	1,206,130
負債合計	2,787,812
<b>純資産の部</b>	
株主資本	4,625,295
資本金	156,100
資本剰余金	145,636
利益剰余金	4,358,330
自己株式	34,772
その他の包括利益累計額	18,081
非支配株主持分	104
純資産合計	4,643,482
負債及び純資産合計	7,431,294

連結損益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

科目	金額(千円)
売上高	6,614,552
売上原価	5,163,019
売上総利益	1,451,533
販売費及び一般管理費	1,259,259
営業利益	192,273
営業外収益	16,301
営業外費用	31,636
経常利益	176,938
税金等調整前当期純利益	176,938
法人税等	76,583
当期純利益	100,354
非支配株主に帰属する当期純損失	78
親会社株主に帰属する当期純利益	100,433





<p><b>流動資産</b></p>	<p>当連結会計年度末における流動資産の残高は、前年度末と比べ1,039百万円減少し、4,316百万円となりました。これは主に、現金及び預金が54百万円、仕掛品が111百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が447百万円、電子記録債権が808百万円ならびに商品及び製品が140百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
<p><b>固定資産</b></p>	<p>当連結会計年度末における固定資産の残高は、前年度末と比べ267百万円増加し、3,115百万円となりました。これは主に、新愛知事業所の取得等により、建物（純額）が410百万円、機械装置及び運搬具（純額）が68百万円、それぞれ増加した一方で、建設仮勘定が140百万円、投資有価証券が73百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
<p><b>流動負債</b></p>	<p>当連結会計年度末における流動負債の残高は、前年度末と比べ942百万円減少し、1,581百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が55百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が368百万円、電子記録債務が157百万円ならびに未払法人税等が109百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
<p><b>固定負債</b></p>	<p>当連結会計年度末における固定負債の残高は、前年度末と比べ358百万円増加し、1,206百万円となりました。これは主に、長期借入金が364百万円増加したことなどによります。</p>
<p><b>純資産</b></p>	<p>当連結会計年度末における純資産は、前年度末と比べ188百万円減少し、4,643百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上100百万円があったものの、配当金の支払い212百万円があったことなどにより、利益剰余金が132百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金の減少50百万円があったことなどによります。</p>

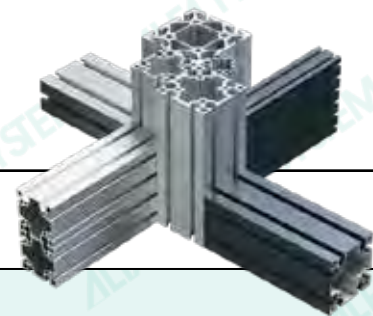


<p><b>売 上 高</b></p>	<p>当連結会計年度は、アルファフレーム部門においては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件数は順調に推移し、これらの案件の売上高は前年度を上回りましたが、FA装置関係の設備投資に一時的な調整が見られたことで大口案件は低調な状況で推移いたしました。</p> <p>装置部門においては、設備投資需要が低調に推移する状況の中、大型設備向けクリーンブースについては、当連結会計年度下半期に需要が減少しましたが、FA装置については上半期に比較して下半期では売上高を伸長させました。</p> <p>商事部門におきましては、当連結会計年度の第3四半期まで工業用砥石、油脂類等の消耗品関係及び工具 関係等の受注が、前年度と同水準で推移しておりましたが、第4四半期に入ってから減少いたしました。また機械設備関係の売上高は好調であった前連結会計年度を下回る結果となりました。</p> <p>これらの結果、売上高は6,614百万円(前期比75.9%)、となりました。</p>
<p><b>売 上 総 利 益</b></p>	<p>当連結会計年度は、受注減の状態が断続的となったものの、新愛知事業所の取得など生産設備の拡充と技術者の増員・増強を継続したことから、売上総利益は1,451百万円(前期比73.0%)となりました。</p>
<p><b>販売費及び一般管理費</b></p>	<p>当連結会計年度は、経費節減に努めつつも将来に向けた人的投資及び販促・広告活動を推進した結果、1,259百万円(前期比100.8%)と前年並みの実績となりました。</p>
<p><b>営 業 損 益</b> <b>経 常 損 益</b> <b>親会社株主に帰属する</b> <b>当 期 純 損 益</b></p>	<p>当連結会計年度は、売上高・売上総利益が減少であったにもかかわらず、販売費及び一般管理費については前年並みとなったことから、営業利益が192百万円(前期比26.0%)、経常利益が176百万円(前期比23.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益が100百万円(前期比20.4%)と減益となりました。</p>





## NIC Autotec, Inc. エヌアイシ・オートテック株式会社

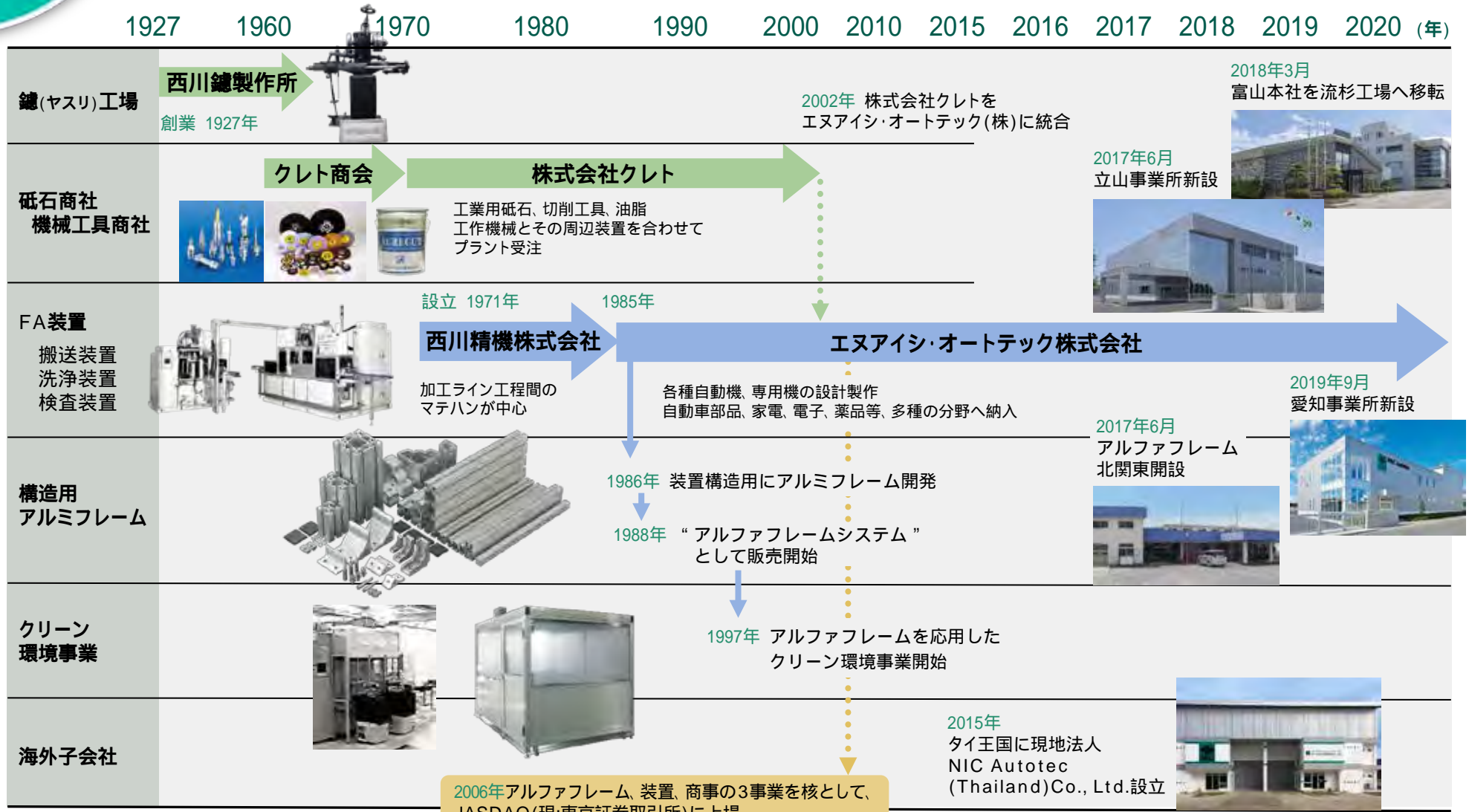


創 業	1927年4月 (昭和2年)
設 立	1971年5月17日 (昭和46年)
代 表 者	代表取締役会長 CEO 西川 浩司
本 社 所 在 地	富山県富山市流杉255番地
東 京 本 社	東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビル B棟 11階
資 本 金	156,100千円 (2020年3月31日現在)
従 業 員 数	連結254名 / 単体242名 (2020年3月31日現在)
平 均 年 齢	単体37.8歳 (2020年3月31日現在)



創業当時の「ヤスリ目立て機」  
1927年4月西川鋳製作所を設立  
鋳(やすり)製造および加工を行う







## アルミ製構造部材から高度な自動化装置さらにはクリーンルームの製造・販売までの一貫体制



高付加価値技術



**ALFA FRAME SYSTEM**



## 富山本社/流杉工場

富山県富山市流杉255



## 立山工場/開発センター

富山県中新川郡  
立山町塚越398-176



## 立山事業所

富山県中新川郡  
立山町前沢2178-1



## アルファフレーム九州

福岡県大牟田市四箇新町1-2



## アルファフレーム関西

大阪府東大阪市  
本庄西2-4-29



## アルファフレーム北関東

埼玉県児玉郡  
神川町元阿保309



## 東京本社 (登記上東京支店)

東京都江東区有明3-7-26  
有明フロンティアビルB棟11階



## 愛知事業所

愛知県清須市清洲田中町167





## 愛知事業所新設 FA装置製作及びアルファフレームシステムの販売強化



予てより建設を進めておりました愛知事業所(愛知県清須市)は2019年9月に竣工し、翌10月より稼働を開始いたしました。当事業所は、生産ラインに最新鋭のICT(情報通信技術)を導入し、省人化による生産性向上や大幅なリードタイムの短縮を図ることで、新たな基幹工場としての役割を果たしております。新工場稼働と同時に旧愛知事業所(愛知県名古屋市)の機能を全て新工場へ移管いたしました。



所在地	愛知県清須市清洲田中町
設備投資額	約9億円
敷地面積	3,464.00㎡(隔地駐車場含)
延床面積	1,662.35㎡
構造	鉄骨造/地上2階

## 性能と利便性を両立した装置メーカーの小型ロボット専用アルミ架台

産業用ロボット架台の課題を克服した「アルミ製ロボット架台」を規格化し、新たな商品としてラインアップいたしました。安全性はもちろん、スチール同等の強度と剛性を確保した最適設計で、高速ロボットの性能を確実に支えます。

ロボットの設置、治具やワークの取り付けも容易で、煩雑な設計や加工・溶接も不要です。部品の取付位置が誰でも分かる、NIC独自のマーキングシステムで組立作業時間・コストを大幅に削減いたします。

### 人とロボットが共に働く、省力化生産ラインのトータルソリューション

省スペースで生産効率UP  
人と並んで作業可能



欠員をロボットで補充  
危険を察知し安全に停止



シーリング



パレタイズ



ピッキング



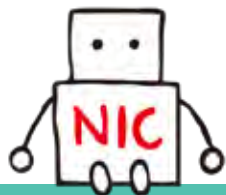
部品取付け



検査



アライメント



## ALFA Kit

### 産業用ロボット架台 FCシリーズ



AK-R-FC07-1000  
垂直多関節ロボット  
7kg可搬以下用架台



AK-R-FCS03  
水平多関節ロボット  
3kg可搬以下用架台

### 協働ロボット架台 FKシリーズ



AK-R-FK07  
協働ロボット  
7kg可搬以下用架台

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料に対するお問合せは、以下へお願い申し上げます。

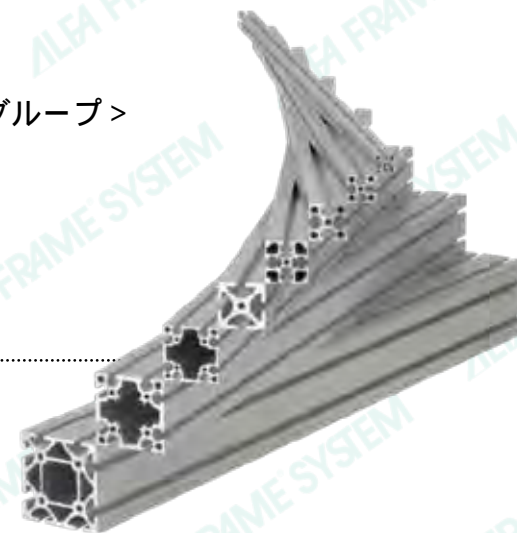
< エヌアイシ・オートテック株式会社 管理部管理グループ >

TEL : 076-425-0738

FAX : 076-422-2712

Mail : [ir@nic-inc.co.jp](mailto:ir@nic-inc.co.jp)

URL : <http://www.nic-inc.co.jp/>





..... Thank You ! .....



## エヌアイシ・オートテック株式会社

富山本社/流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255	TEL:076-425-0738
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26 有明フロンティアビルB棟11F	TEL:03-5530-8060

★ご注意 著作権 © NIC AUTOTEC,INC .

WARNING : All Rights Reserved . Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。

産業財産権 NIC AUTOTEC,INC . ALFA CLEAN BOOTH & SYSTEM,ALFA FRAME SYSTEMの主要な構成部品は特許、実用新案、意匠権など産業財産権により保護されております。